

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ホープ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日 ～ 2025年 2月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日 ～ 2025年 2月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達、知的、身体など多様な障害を持つお子さんに専門スタッフが連携し個々の特性に寄り添い最適な支を提供している。	定期的にカンファレンスを実施し個々のお子さんの状況や支援計画をスタッフ間で共有するように常に努めている。	今後は記録の一元管理やスタッフの適切な役割分担などをマニュアル化しより良い支援を提供できるよう取り組む。
2	常にスタッフ間でヒヤリハットを共有しシュミレーション訓練を行いリスクを最小限にとどめるよう努めている。	ヒヤリハット情報から個々の行動の特性を把握し行動の再確認を行いリスクを予測して具体的な支援を行うようにしている。	リスクを回避するための動作や声掛け等の支援スキルを向上させスタッフ間で共有し同じトラブルを防ぐ。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障害の種類が多様な為、移動方法、移動時間、大きな音や人込みが苦手等、外の環境に適應することが難しくみんなで外出体験を行うこと難しい。	障害の特性に応じた少人数グループに分かれて外出を計画する。家族や地域のサポートを活用する。障害児向けに配慮されたイベントを探す。	家族や地域のサポートを依頼する。施設においては貸し切りや優先時間などの配慮をお願いする。
2	地域との連携、他の福祉機関、行政、学校等との連携不足。	当事業所の支援方針を学校や他の福祉施設と共有し一貫性のある支援を行う。	当事業所も地域のイベント活動に参加、協力し相互関係を築き地域との理解を深めるようにする。
3			